

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 1 区分

【発行日】平成 29 年 2 月 16 日 (2017.2.16)

【公開番号】特開 2016-39129 (P2016-39129A)

【公開日】平成 28 年 3 月 22 日 (2016.3.22)

【年通号数】公開・登録公報 2016-017

【出願番号】特願 2015-33890 (P2015-33890)

【国際特許分類】

H 0 1 R 12/71 (2011.01)

【F I】

H 0 1 R 12/71

【手続補正書】

【提出日】平成 29 年 1 月 11 日 (2017.1.11)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 9

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 9】

(第 1 実施形態)

以下では、コネクタ、ヘッダハウジングおよびソケットハウジングの長手方向を X 方向、コネクタ、ヘッダハウジングおよびソケットハウジングの幅方向（短手方向）を Y 方向、図 29 から図 32 におけるコネクタの上下方向を Z 方向として説明する。また、ソケットおよびヘッダは、図 29 から図 32 に示す状態における上側を上下方向上側（表面側）、下側を上下方向下側（裏面側）として説明する。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 2 5 9

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 2 5 9】

(第 2 実施形態)

以下では、コネクタ、ヘッダハウジングおよびソケットハウジングの長手方向を X 方向、コネクタ、ヘッダハウジングおよびソケットハウジングの幅方向（短手方向）を Y 方向、図 58 から図 61 におけるコネクタの上下方向を Z 方向として説明する。また、ソケットおよびヘッダは、図 58 から図 61 に示す状態における上側を上下方向上側（表面側）、下側を上下方向下側（裏面側）として説明する。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 4 0 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 4 0 6】

また、ソケットハウジングやヘッダハウジング、その他細部のスペック（形状、大きさ、レイアウト等）も適宜に変更可能である。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 4 0 7

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0407】

- 10 コネクタ
- 20 ヘッダ
- 21 ヘッダハウジング
- 22 ヘッダ側信号用端子
 - 22a 付け根部
 - 22c 凹部
 - 22e 被係止部
- 23 ヘッダ側電源用端子
 - 23a 付け根部
 - 23c 凹部
 - 23e 被係止部
- 24 ヘッダ側保持金具
 - 24a 固定端子
- 30 ソケット
- 31 ソケットハウジング
 - 31s 外面
 - 31t 側面
 - 31u 底面
- 32 ソケット側信号用端子
 - 32a 付け根部
- 33 ソケット側電源用端子
 - 33a 付け根部
- 35 片部
- 36 片部
- 34 ソケット側保持金具
 - 34d 固定端子
 - 34j 第1の固定端子
 - 34k 第2の固定端子
 - 34e 外壁面
 - 34f 外面
- 40 第2の回路基板
- 41 回路パターン
- 50 半田
- 60 第1の回路基板
- 61 回路パターン
- 70 半田
- R1～R5 接点部
- C1、C2 接点
- G4 ソケット側信号用端子群
- X 長手方向
- Y 短手方向（幅方向）
- Z 上下方向